



(旧和商)

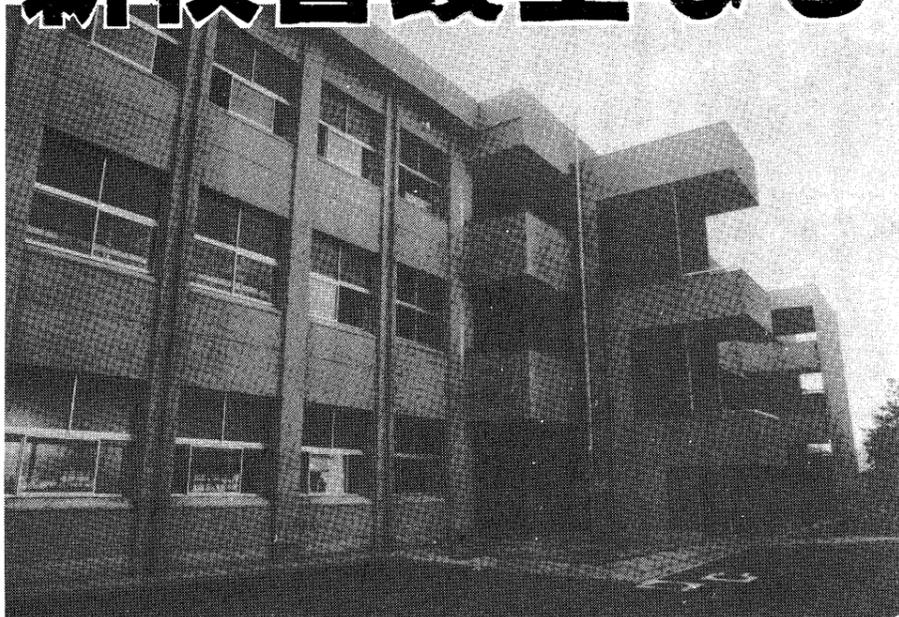
# 和商同窓会会報



(新和商)

(発行所) 和歌山市砂山南3丁目3-94 県立和歌山商業高校内 電話36-6456 発行人 村垣龍男 (第10号) 昭和56年3月1日 (日曜日)

## 新校舎竣工なる



## 祝賀式典盛大に挙る

このたび、総建築面積二六三・三四平方メートルの鉄骨コンクリート造二階建ての普通教室、特別教室棟が、本校校地の南側に、三億円余りの巨費をかけて竣工されました。

この新校舎は、昭和五十五年九月に次の構想により建築計画が立案された。  
(一)、商業教育の基礎的なものを、身につけさせるための特別知識、技能、技術を修得させる教育活動に、必要最低限の産業教育施設基準内(当時充実率二・二%)の商業科特別教室の建築。  
(二)、建築後約七十年経過した旧兵舎(簿記教室などに仮使用中であった危険校舎)の改築。  
(三)、昭和四十一年生徒急増対策校舎として建てられた、プレハブ教室(普通教室、美術、音楽教室)の改築。

これらの建築計画に基づき、昭和五十二年九月商業科特別教室建築着工に始まり、昭和五十五年八月プレハブ校舎改築工事完了まで四ヶ年度にわたり、建設されたものである。

この間、学校、PTA及同窓会各代表の方々が、県当局や、県教育委員会へ、この校舎建築の促進について、再三、陳情を重ねました。又県教育委員会との教育懇話会(高P連行事)においても、本校施設の実情を説明して、建設方懇願したのである。

この新校舎の完成により、本校の教育効果が、より一層あげられることが期待される。



なお、この新校舎の竣工記念式典が、昭和五十五年十一月六日、午前十時から本校体育館において、県当局、県教委、県立学校、関係中学校、PTA、クラブ

## 新制内藤校長逝く



昨年十一月二日、脳血管のため入院先の市内北ノ新地尾崎病院にて逝去。八十一才。出身地は米子市東八幡。葬儀は市内鷹匠町感応寺において十一月四日挙行された。

### 母校元教諭 藤城巨男

退職後市教育委員長を十二年間歴任され、また裁判所調停委員もされながら多忙な日々を送られていた。  
昭和四十四年に勲四等旭日小綬章を受けられ、昭和五十五年十一月には従四位に叙せられた。  
嗣子伊藤氏(五十才)は尾崎病院常務理事として活躍中。

### 母校元教諭 藤城巨男

剛健にして緻密、才気の道を心得、書もまた能く富み、かつ古武士の風格をそなえた方で、スポーツを愛好して自身は剣士として和歌山に赴き、商業教育の真髓に

取組まれ、戦前戦後の商業学校運営の最も至難な時期、生徒動員・校舎部が紀和大会に優勝して、甲子園出場がきまつたとき、「よく頑張ってくれた」と感激されたその時、光景を今も忘れることができません。

創立当時の苦労話を折々に語り、校長室へ報告に行くと、「あ、そうか」といわれるだけで、全国優勝してはじめてよろこんでくれたと野田聖太郎先生が話されたことがあり、和商はスポーツばかりではなく、珠算、商業美術等文化部の面でも全国的に名声をあげ今日の

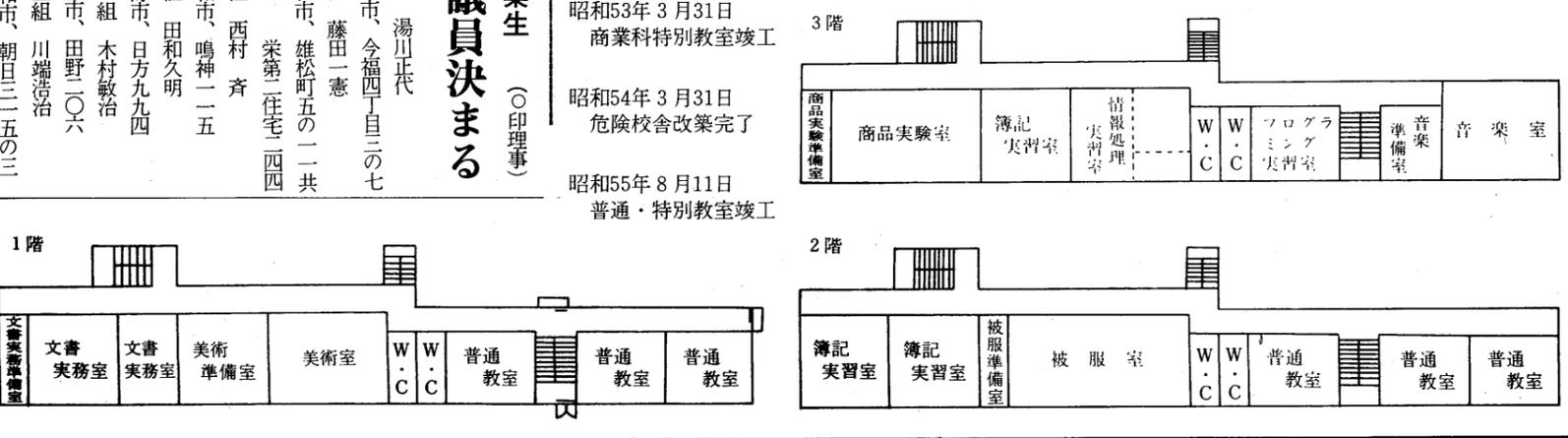
勝つて校長室へ報告に行くと、「あ、そうか」といわれるだけで、全国優勝してはじめてよろこんでくれたと野田聖太郎先生が話されたことがあり、和商はスポーツばかりではなく、珠算、商業美術等文化部の面でも全国的に名声をあげ今日の

勝つて校長室へ報告に行くと、「あ、そうか」といわれるだけで、全国優勝してはじめてよろこんでくれたと野田聖太郎先生が話されたことがあり、和商はスポーツばかりではなく、珠算、商業美術等文化部の面でも全国的に名声をあげ今日の

## 昭和五十六年三月卒業生 新第三十期評議員決まる

- 一組 市丸正義
- 二組 沖 貴文
- 三組 山本高士
- 四組 堂本昌寛
- 五組 橋本真次
- 六組 大橋弘詩
- 七組 湯川正代
- 八組 藤田一憲
- 九組 西村 齊
- 十組 田和久明
- 十一組 木村敏治
- 十二組 川端浩治

普通教室・特別教室棟平面図

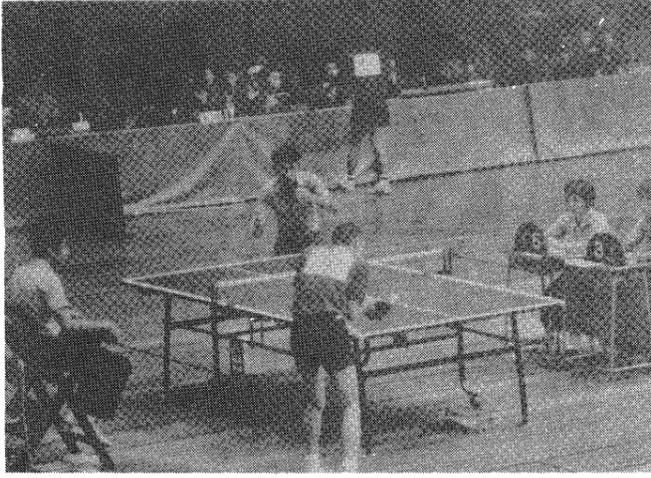


# 昭和55年度 国体・インターハイ出場

## 女子陸上陣の健闘

### 卓球(男子)は連続出場

昨年七月愛媛県を中心に開催された昭和五十五年度



第三十五回国民体育大会(インターハイ)および九・十月の

以下に母校の名譽のために奮闘されました。

なお、選手団の一人である天野泰行君(卓球部三年)

は、「国体、インターハイ」に出場でき、すばらしい思い出となりました。進学後もがんばります。ありがとうございました。と感想を語っています。

#### インターハイ出場者

- 卓球 岡本晃一(三年)
- 天野泰行(三)、高増洋一(二)、山本芳伸(二)、西山正紀(二)、山本敏史(二)、宮本和彦(二)、田村貴之(二)、片岡宏宏(二)、以上九名。
- 陸上 塩地章子(三)、

## 田嶋一雄氏をかこんで 同窓会大阪支部の新年会を開催

### ミノルタカメラ社長

八十二年の新春を迎えて

和商同窓会大阪支部(支部本)について講話され、出席者に深い感銘をあたえた。長増洋一(二)は、恒例の新年会を大阪ガスビル八階特別室において、一月二十日(金)十一時より盛大に開催された。今回は特に大先輩であるミノルタカメラ社長田嶋一雄氏(一期生)が出席された。田嶋氏は、母校の小学校校長先生は出張先の東京より当日かけつけられ母校の現状を話され

## 百万円の御寄贈

### 故内藤先生御遺族より

御逝去された内藤俊彦校長の御遺志により、嗣子伊藤氏が本会発展のために、百万円を寄贈くださいました。贈がありました。



大阪支部の新年座談会に出席者の方々

左の通り。(一)は期別。

- 田嶋一雄(十二)
- 坂本茂一郎(八)
- 川口善次(八)
- 安福知吉(八)
- 山崎敏明(八)
- 川端慶三(十二)
- 宮本一三(十三)
- 寺田勝次郎(十七)
- 田村新兵衛(八)
- 滝本康夫(十八)
- 中井田太郎(八)
- 則岡祥三(二〇)
- 増田明(二四)
- 辻本太(八)
- 釜池茂男(八)
- 木下順蔵(八)
- 築瀬九十郎(八)
- 中谷義隆(二九)
- 西川太郎(三六)
- 角谷士郎(八)
- 高橋昭隆(四〇)
- 坂口澄二(四二)
- 藤井利昌(八)
- 碓利男(新五)

## 母校年代誌

### 昭和一八年以降

昭和一八年 中等学校令公布(修業年限を四年に短縮)

学徒出陣行なわれる

第二八回卒業証書授与式を挙げる(繰上卒業卒業生一〇一名)

昭和一九年 学徒勤労令公布

商業学校の転換措置、昭和一九年一月に全国で昼間

独立校三〇校、昼夜間併置校七五校、夜間独立校六

五校が、転換後の四月には全国に男子商業四八校を残し女子商業五二校を加え総数一〇一校に減少した。単

独商業は樺太豊原、函館盛岡、仙台、水戸、深谷、浦和、都立一商、芝商、修徳、実践、横浜、長野、静岡、浜松、商、愛知、名古屋、四日市、八幡、京都一商、天王寺、大阪東、大阪西、堺、大阪大倉、関西甲種、第一神戸、和歌山、岡山、広島、下関、高松、徳島、松山、伊万里、長崎、以上三六校(商業教育八〇年記念誌)

四月一日 中等学校令に依り昭和一八年四月一日より、実業学校規定第二八条により生徒定員一〇〇名となる

和歌山県立実業学校規則改正により更に生徒定員を六〇〇に削減される

五月三日 本校創立四〇周年記念式典を挙げる

七月二日 午前九時より学徒勤労動員報隊隊出動に付壮行式を挙げる

同日五年生は住友金属和歌山工場に出動する

七月五日 本日午前九時四〇分本校学徒勤労動員報隊隊(四年生)相生市播磨造船所へ出発す

七月七日 西浜の本校舎に映画隊駐屯により本日備品貸与に付之が受渡しに木村教諭、川村書記立会せられた

七月二日 午前九時より学徒勤労動員報隊隊出動に付壮行式を挙げる

同日五年生は住友金属和歌山工場に出動する

七月五日 本日午前九時四〇分本校学徒勤労動員報隊隊(四年生)相生市播磨造船所へ出発す

七月七日 西浜の本校舎に映画隊駐屯により本日備品貸与に付之が受渡しに木村教諭、川村